

第3編 重点プロジェクト



第1章 重点プロジェクトの基本的な考え方

1. 重点プロジェクトの考え方

重点プロジェクトは、将来像である「キラリ☆五霞町～快適で居心地のよいまち～」の実現に向けた今後5年間で重点的に取り組む施策です。

本町の人口は、平成7年をピークに減少が進み、特に少子高齢化が顕著となっています。今後のまちづくりを進めるにあたっては、人口減少対策が重要なテーマとなることから、基本構想の「将来指標（定住人口*・関係（交流）人口・活動人口）」の維持向上に寄与する施策を重点プロジェクトに位置づけます。「活力（＝活動人口）」、「魅力（＝関係（交流）人口）」、「幸福度（＝定住人口*）」の3つの柱により、プロジェクトを展開します。

○活力（＝活動人口）

⇒未来への投資…町外からの投資を呼び込み、次世代を担う人材、まちを支える基盤への『投資』を進め、活動人口の増加を図る

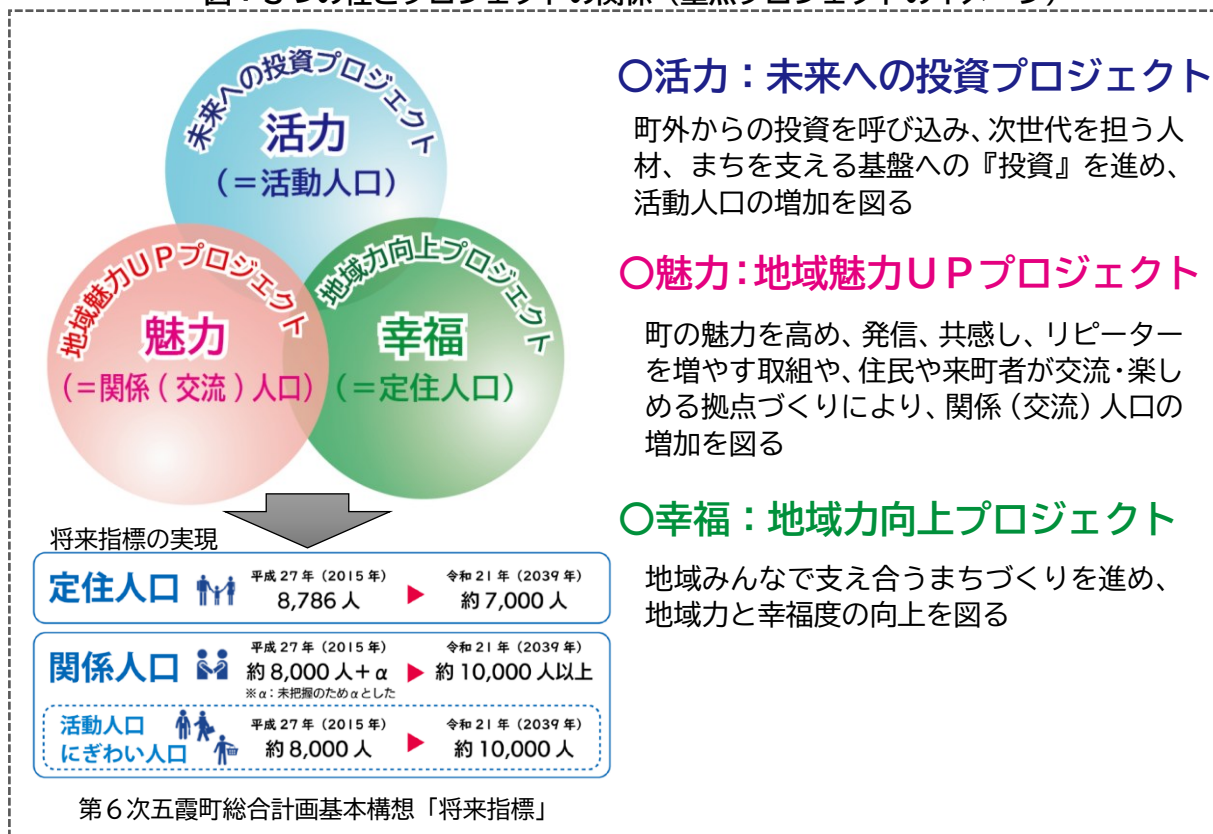
○魅力（＝関係（交流）人口）

⇒地域魅力UP…町の魅力を高め、発信、共感し、リピーターを増やす取組や、住民や来町者が交流し・楽しめる拠点づくりにより、関係（交流）人口の増加を図る

○幸福（＝定住人口*）

⇒地域力向上…地域みんなで支え合うまちづくりを進め、地域力と幸福度の向上を図る

図：3つの柱とプロジェクトの関係（重点プロジェクトのイメージ）



■重点プロジェクト一覧

Project 1 未来への投資プロジェクト …活力（活動人口）

- ①小さな町の自立性を高める投資
- ②次世代を担う人への投資
- ③まちを支える基盤への投資

Project 2 地域魅力UPプロジェクト …魅力(関係(交流)人口)

- ①みんなが知っている五霞の魅力をUP
- ②行って楽しい五霞、また行きたい五霞の魅力をUP

Project 3 地域力向上プロジェクト …幸福（定住人口）

- ①子どもを産みたい・育てたい地域づくり
- ②住んで良かった地域づくり
- ③住み続けたい地域づくり

■重点プロジェクトの見方

Project1 未来への投資プロジェクト


本町は高度経済成長期に、農工商全の施策を掲げ、土地改良事業、ほ場整備事業*、農業構造改善事業等を実施し、優良農用地の確保と農業の近代化を図るとともに、工業団地の造成を行い、今の町の原型が創り上げられてきました。現在でも昼夜間人口比率が県内で最も高い本町は、先人たちが、町の未来を想い、これまで投資を行ってきた故の成果であり、今後も戦略的かつ五霞町らしい都市と自然のバランスがとれた持続可能なまちづくりが求められています。また、限られた経営資源（ヒト、モノ、カネ）で、目指す将来像を達成するためには、中・長期的にも選択と集中による施策の展開が求められています。

そのため、「モノ」への集中投資だけでなく、「ヒト」（＝次世代を担う人への投資）、「モノ」（＝まちを支える基盤への投資）、「カネ」（＝小さな町の自立性を高める投資）の対流を促進させ、活力あるまちを次世代に引き継ぐ投資を行っていくことが重要であると考えます。

①小さな町の自立性を高める投資

外需の拡大を図るため、五霞インターチェンジ周辺については新たな開発地の整備を進め、商業や工業を中心に町内外からの投資を呼び込む地区として戦略的な土地利用を図ることで、小さな町の経済自立性を高めます。

主な事業：・五霞インターチェンジ周辺整備事業(第2期) など
関連施策： 62 頁②-a、132 頁②-a・c




圏央道五霞インターチェンジ

②次世代を担う人への投資

人口減少が進む本町においては、地域産業や地域活動・地域づくりの担い手となる人的資源への投資が求められています。特に、本町で学ぶ子どもたちのために、豊かな未来を自ら切り拓くことができる教育を推進するとともに、五霞ならではの資源を生かしたキャリア教育や体験学習などを通じて、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる基礎的・汎用的能力の育成、町への誇りや愛着を高める教育を展開し、町の将来の担い手となる人材を育成します。

主な事業：・学校整備事業
・学校情報化推進事業
・担い手育成支援事業
・行政区活動支援事業 など
関連施策： 89 頁①-a、90 頁②-a・b、95 頁①-a、123 頁②-a、131 頁①-a



「メグリッッシュキャンプ

・プロジェクトの説明

プロジェクトのねらいを示しています

・プロジェクト内容

プロジェクトの取組内容を示しています。

タイトルに併記した(1-1-1-目②-a など)は、基本計画の施策との対応関係を示しており、(章-節-項(施策の基本方針)-目・細目)を表記しています。

・主な事業と関連施策

プロジェクトの取組内容に関連した主な事業と基本計画における施策内容を示しています。

48

第2章 重点プロジェクト

Project 1 未来への投資プロジェクト

本町は高度経済成長期に、農工両全の施策を掲げ、土地改良事業、ほ場整備事業*、農業構造改善事業等を実施し、優良農用地の確保と農業の近代化を図るとともに、工業団地の造成を行い、今の町の原型が創り上げられてきました。現在でも昼夜間人口比率が県内で最も高い本町は、先人たちが、町の未来を想い、これまで投資を行ってきた故の成果であり、今後も戦略的かつ五霞町らしい都市と自然のバランスがとれた持続可能なまちづくりが求められています。また、限られた経営資源（ヒト、モノ、カネ）で、目指す将来像を達成するためには、中・長期的にも選択と集中による施策の展開が求められています。

そのため、「モノ」への集中投資だけでなく、「ヒト」（＝次世代を担う人への投資）、「モノ」（＝まちを支える基盤への投資）、「カネ」（＝小さな町の自立性を高める投資）の対流を促進させ、活力あるまちを次世代に引き継ぐ投資を行っていくことが重要であると考えます。

①小さな町の自立性を高める投資

外需の拡大を図るため、五霞インターチェンジ周辺については新たな開発地の整備を進め、商業や工業を中心に町内外からの投資を呼び込む地区として戦略的な土地利用を図ることで、小さな町の経済自立性を高めます。

主な事業：・五霞インターチェンジ周辺整備事業(第2期) など

関連施策： 62 頁②-a、132 頁②-a・c



圏央道五霞インターチェンジ

②次世代を担う人への投資

人口減少が進む本町においては、地域産業や地域活動、地域づくりの担い手となる人的資源への投資が求められています。特に、本町で学ぶ子どもたちのために、豊かな未来を自ら切り拓くことができる教育を推進するとともに、五霞ならではの資源を生かしたキャリア教育や体験学習などを通じて、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる基礎的・汎用的能力の育成、町への誇りや愛着を高める教育を展開し、町の将来の担い手となる人材を育成します。

主な事業：・学校整備事業
・学校情報化推進事業
・担い手育成支援事業
・行政区活動支援事業 など

関連施策： 89 頁①-a、90 頁②-a・b、95 頁①-a、123 頁②-a、131 頁①-a



イングリッシュキャンプ

③まちを支える基盤への投資

住民の暮らしの利便性を高めるため、住民が来庁しなくても各種手続きができる窓口業務のオンライン化や、住民や観光客、世代を問わず誰もが安心して移動できる公共交通体系の構築、上下水道の広域化などによる住民の負担の軽減など、利用者の視点に立った満足度と利便性の高い行政サービスの提供を進めます。

主な事業：	・地域公共交通システム構築事業 ・代替バス運営事業 ・高齢者等生活支援事業 ・戸籍・住民基本台帳等事務事業 など
-------	---

関連施策：	65 頁②-a・b、72 頁①-b、73 頁②-b、143 頁①-a、 148 頁②-b
-------	---



ごかりん号乗り方教室

Project2 地域魅力UPプロジェクト

「道の駅ごか」での聞き取り調査(Q&A ボード)では、「道の駅ごか」を拠点に町に点在する観光資源等を見て、遊び、体験したいニーズが高いことがうかがえました。町の観光資源や特産品、イベントなどの個々の観光資源の認知度や魅力度を高めながら、町内を周遊できる観光コンテンツの検討や、体験や経験に価値を置いた観光コンテンツ化の開発に取り組むことが重要です。

また、町の基幹産業である魅力ある産業として次世代に引き継いでいくためには、「儲かる農業」の実現を目指し、農業の収益性を高めるための取組を進めることが重要です。

安心・安全に暮らせる災害に強いまちを目指し、建設から60年が経過する役場庁舎の建て替えを契機に、防災拠点としての機能強化だけでなく、住民の暮らしの質を高め、町の魅力を高める機能を備えた庁舎整備が重要です。

①みんなが知っている五霞の魅力をUP

新たな産業振興による魅力あるまちづくりを進めるため、農産物の高付加価値(6次産業化*)を推進するとともに、町の観光資源や特産品をパッケージ化し観光コンテンツとしてさらなる魅力を高め、五霞町を“知りたい”から“行って楽しい”、“行って良かった”という好循環のサイクルを生むまちづくりを進めます。また、「道の駅ごか」を五霞の魅力発信の拠点とし効果的なプロモーション活動を推進します。



ごかりん祭

主な事業:	・観光振興事業 ・「道の駅ごか」振興事業 ・農業振興事業 など
-------	---------------------------------------

関連施策:	128 頁②-a・b、129 頁②-c・d、131 頁①-b
-------	--------------------------------

②行って楽しい五霞、また行きたい五霞の魅力をUP

安心・安全に暮らせる災害に強いまちをつくるため、防災拠点としての性能・役割をもった新庁舎の整備を進めます。庁舎の整備にあたっては、防災拠点として機能強化だけでなく、多機能が集まった地域住民も来町者も交流できる楽しい拠点づくりを進めます。また、防災ステーションについても、安全で広い土地を生かした交流人口拡大に寄与する利用の検討を進めます。



情報・防災ステーションごか

主な事業:	・複合庁舎整備事業 ・PPP*・PFI*推進事業 など
-------	--------------------------------

関連施策:	79 頁①-b、151 頁②-a
-------	------------------

Project3 地域力向上プロジェクト

住民アンケート調査において、本町の幸福度は県平均値と比べては若干低い結果となっています。一般的に住みやすさの満足度が高ければ定住意向も高くなる傾向があることから、暮らしの利便性を高め、地域全体で子どもを支える社会をつくり、みんなで支え合う地域共生社会をつくることで、地域に暮らすすべての人々が幸せな生活を送れるように、個人の幸福度を高めるだけでなく、家族や地域、町、社会全体の幸福度(ウェルビーイング*)を高める取組が重要です。

①子どもを産みたい・育てたい地域づくり

子育て支援の充実で明るい未来をつくるため、妊娠、出産、子育てに関する相談、必要な情報提供や助言など切れ目ない支援を行うことで、子育て世代が暮らしやすいと思えるような環境づくりを推進します。

主な事業：	・母子保健事業 ・保育所運営事業 など
関連施策：	101 頁①-a、102 頁②-a・b



よちよち相談

②住んで良かった地域づくり

保育料や給食費の無償化、医療福祉(マル福)など、多様な子育て支援策、家庭への負担軽減策を進めるとともに、若者世代向けの地域優良賃貸住宅の整備など、各課横断的なプロジェクトチームを発足し、移住定住施策を積極的に推進します。

主な事業：	・地域優良賃貸住宅整備事業 ・子育て環境整備支援事業 など
関連施策：	62 頁②-b、93 頁②-b、101 頁①-a



地域優良賃貸住宅(イメージ図)

③住み続けたい地域づくり

健康長寿・福祉の充実で明るく楽しいまちづくりを進めるため、住民一人一人が地域で暮らすみんなと一緒に、ともに助け合い、支え合いながら、住民の大きな絆によって安心して暮らせるまちを目指します。

主な事業：	・包括的支援事業・任意事業 ・予防・生活支援サービス事業 ・健康づくり推進事業 など
関連施策：	80 頁②-a、104 頁①-b、105 頁①-c、106 頁②-a・b、 107 頁②-c、109 頁①-a、112 頁①-a、122 頁①-a・b、 127 頁①-a



グラウンドゴルフ